

よこはま動物園ズーラシア

5年ぶりにベニハチクイが孵化しました！

令和7年7月8日(火)と10日(木)に、よこはま動物園でベニハチクイが2羽孵化しました。8月上旬には展示場の巣穴から出てきて、2羽とも無事に巣立ちました。

ベニハチクイは野生では崖地に集団で巣穴を掘り繁殖します。当園の展示場もそれを模した構造になっています。

これまで、平成29年から令和2年にバックヤードでの繁殖に成功していましたが、その後、5年間は繁殖に至る例はありませんでした。数年前からペアの入れ替えを行い、今年、展示場で初めて繁殖に成功しました。巣立ったヒナは親とほぼ同じ大きさ、羽の色をしているので、見分けるのは難しいかもしれませんが、しばらくは親に餌をねだっている姿が見られるかもしれません。



ベニハチクイ



ベニハチクイのヒナ(7月25日撮影)



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ 個体情報

ヒナ1	令和7年7月8日 孵化
ヒナ2	令和7年7月10日 孵化

※群れ飼育のため、両親の特定は出来ません。

■ 共同研究

巣穴内での繁殖行動を観察するため、日本大学生物資源科学部と共同研究を行い、巣箱内にビデオカメラを設置し録画しました。今回、普通は見ることのできない巣箱内での繁殖行動の記録にも成功しました。映像解析を進め、この記録をもとに、引き続き繁殖行動の解明を行っていきます。

■ ベニハチクイについて

和名	ベニハチクイ
英名	Northern Carmine Bee-eater
学名	<i>Merops nubicus</i>
分類	ブッポウソウ目 ハチクイ科
分布	中央～東アフリカのサバンナ
生態	ベニハチクイの羽は、洋紅色で頭部と喉は緑青色をしている。主食は昆虫で、ハチのほかにはバッタやイナゴなどを食べる。繁殖の際には大きなコロニーをつくり、崖や地面に穴を掘って巣作りをする。
ワシントン条約 (CITES)	なし
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	低懸念 (LC)：絶滅の危険性が低い
当園飼育頭数	25羽 (オス13羽、メス10羽、不明2羽) ※今回生まれたヒナを含む
国内飼育園館	2園館 29羽 (オス16羽、メス13羽) ※令和6年12月31日現在

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆ 開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆ 休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1
- ◆ 交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約18分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆ URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000